

## 剣道スポ少創立35周年 記念交流深める

剣道スポーツ少年団の創立35周年記念剣道錬成大会が2月3日、広野中学校体育館で開かれました。

大会にはいわき市や双葉郡内のほか、団員の避難生活で交流が生まれた本宮市や石川町などから19団体173名の参加。

小学生は低学年の部と高学年の部で3人制の団体戦、中学生は個人戦で熱戦を繰り広げました。

試合後は節分にちなみ豆まきを行い、少年剣士たちが鬼役となった指導者たちに豆を投げ福を呼び込むとともに交流を深めました。

成績は次の通り。

小学生団体

●低学年の部 1位 広野町剣道スポ少A

●高学年の部 3位 広野町剣道スポ少A

中学個人

●男子の部 3位 根本 凌(広野町剣道スポ少)



▲創立35周年記念大会に参加した子どもたちと保護者



▲鬼役の指導者に豆を投げ込む子どもたち

## 復興を願い イベント開催

広野町常磐仮設復興祈願祭が3月10日、常磐迎仮設住宅で開催されました。

常磐仮設住宅の入居者が今まで支援をいただいた団体と協力し、企画しました。

当日は、各仮設住宅の入居者や近くに住んでいる子どもたちなど多くの方が来場し、ミニライブや和太鼓のステージなどをはじめ、飲食ブースや遊びコーナーなど盛りだくさんのイベントで会場は大いに盛り上がりました。



▲太鼓の講習を受ける子どもたち

## 繋がりを取り戻すために 行政区長会議開催

行政区長会議が3月21日、公民館 大会議室で行われました。

今回の会議では、平成25年度より、新たに新設する「コミュニティ交流事業助成金」について説明しました。この助成金では、行政区が行う懇談会などに要する経費を助成し、町民が顔を合わせることで行政区ごとの繋がりを取り戻すことを目的としています。



▲行政区長会議の様子

## 災害時に備え 防災協定締結



▲協定書にサインした山田町長(左)、穴戸町長(右)

福島県小野町と災害時における相互応援に関する協定書調印式が3月4日、小野町役場で行われました。

この協定は、東日本大震災時も避難施設などの提供してくれた小野町との防災面での関係をより強固とするため結ぶものです。

この協定書の主な内容としては、両市町が災害時に迅速な相互応援を行うため、物資の提供や職員の派遣のほか、避難施設などの提供があります。

広野町はこれまで埼玉県三郷市と静岡県伊東市とも防災協定を結んでおり、平時より地域間交流に努めています。

## 感謝の気持ちを胸に 再出発

JFAアカデミー福島2期生の卒校式が3月2日、静岡県御殿場市の御殿場高原時之栖で行われました。

2期生16名は、中学1年生から高校1年生の3月まで広野町で生活。サッカー以外にも福島駅伝など広野町のために積極的に活動していただきました。

卒校生を代表して答辞を読んだ平澤俊輔さんは、「広野町は、私たちの第2のふるさととして大きな愛情を注いでくれました。私たちは、広野町の素晴らしい自然が大好きです。今まで私たちを応援してくれた方々に、大きな舞台でまた応援してもらえるよう精一杯頑張っていきたい」と感謝の気持ちと新たな決意を述べてくれました。



▲JFAアカデミー福島2期生との記念写真



▲アカデミー生が生活しているホテルの外観



▲ホテルの近くにある専用練習所



▲サッカーの練習の後、勉学に励む部屋